

学会誌 35-3 号「閉鎖性水域のリモートセンシング」小特集への投稿論文の募集

日本リモートセンシング学会誌35-3号（2015年7月号）では、「閉鎖性水域のリモートセンシング（仮題）」小特集を企画しています。これはアオコや赤潮等の環境問題がしばしば発生する湖沼や沿岸域（ここでは閉鎖性水域と呼ぶ）を対象としたリモートセンシング手法及びその応用に関して、最新の研究成果や問題点等の紹介を幅広く特集するものです。閉鎖性水域のリモートセンシングは、水中成分の構成が複雑であること、対象面積が狭いこと、水深が浅いこと等の特徴があるため、外洋とは同じ手法が使用しにくく、また専用の観測衛星がない等の問題が山積しています。本小特集では下記の通り論文を募集しますので、奮ってご投稿ください。

記

- ・掲載予定号 35-3号（2015年7月号）
- ・募集論文形態 論文，小論文，総説（レビュー），事例紹介
- ・論文のテーマ 閉鎖性水域のリモートセンシングに関するテーマについて，幅広く募集します。例えば，湖沼や沿岸における水色・水温・風速・水深の定量や水草・藻場被覆率の推定アルゴリズム，物理量の画像データベース開発など。また，同水域リモートセンシングの総説（レビュー）論文などについても募集します。
- ・論文投稿期限 2014年12月10日
- ・論文査読 論文・小論文・総説（レビュー）ともに，通常通りの査読を行います（ただし，事例紹介は査読無）。
- ・投稿規定等 以下のページをご参照ください。
<http://www.rssj.or.jp/gakkaisi/gakkaisi.htm>
- ・留意事項 査読審査の進行状況によっては，受理された論文が35-3号以降に掲載される場合があります。
- ・本小特集に関する問い合わせ先 松下文経（35-3号担当編集委員，筑波大学）
matsushita.bunkei.gn@u.tsukuba.ac.jp
作野裕司（小特集号ゲストエディター，広島大学）
sakuno@hiroshima-u.ac.jp

以上

日本リモートセンシング学会編集委員会

委員長 中島 孝（東海大学）

35-3号担当編集委員 松下文経（筑波大学）